

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-198947 (P2020-198947A)
 【公開日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-051
 【出願番号】特願 2019-106211 (P2019-106211)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 25 日 (2021.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の付与条件が成立したことに応じて遊技用価値を付与する処理を実行可能な付与手段と、

遊技者にとっての有利度合いを示す設定値を変更する処理を実行可能な設定値変更手段と、

閉状態と開状態に変位可能な前扉部と、を備え、

前記付与手段により遊技用価値の付与が行われている際に、前記前扉部が閉状態から開状態に変位した場合であっても前記付与手段による遊技用価値の付与は続行可能であり、

前記付与手段により遊技用価値の付与が行われることとなってから予定分の付与が終わる前においては、前記設定値変更手段による処理の実行を禁止可能にしている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

近年多くの遊技機は、マイクロプロセッサにより制御され、電源オフによる意図的な電断時、停電や電圧降下等の意図しない電断時、電断直前の遊技情報を R A M に保存し、電源オンによる手動復旧時、電源回復による自然復旧時、保存した遊技情報に基づいて、電断前の遊技の続きから遊技を再開できるようにしている（例えば、特許文献 1 等参照）

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

また、多くの遊技機は、遊技者が触ることのできない遊技機の内部スイッチにより、遊

技者にとっての有利度合いを示す設定値を変更可能にしている。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

【特許文献１】特開２００４－７３６１１号公報

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

ところで、メダルの払出途中で、メダル詰りやメダル切れによりエラー停止すると、遊技場係員により遊技機の内部にアクセスする必要性が生じる。この場合、メダル詰りの解消、メダルの補給等でエラー解除は本来可能であるが、エラー表示メッセージが各社区々であり、また、エラーによっては設定変更がエラー解除条件の一つになっている場合もあるため、誤って、電源をオフし、設定変更の操作をしてしまう恐れがある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

設定変更がされると、広範囲なＲＡＭ領域が初期化され、電断前の遊技情報は消去されるため、予定分のメダルの払出しが途中で打ち切られる等の不具合が発生する恐れがある。

。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであり、不具合を抑制可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

上記目的を達成するため、本発明は、以下のような構成の遊技機を提供する。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

所定の付与条件が成立したこと（例えば、入賞等）に応じて遊技用価値を付与する処理

を実行可能な付与手段（例えば、「メインCPU101等でするメダル払出処理」等）と、

遊技者にとっての有利度合いを示す設定値を変更する処理を実行可能な設定値変更手段（例えば、「メインCPU101等でする設定変更処理」等）と、

閉状態と開状態に変位可能な前扉部（例えば、フロントドア2b等）と、を備え、

前記付与手段により遊技用価値の付与が行われている際に、前記前扉部が閉状態から開状態に変位した場合であっても前記付与手段による遊技用価値の付与は続行可能であり、

前記付与手段により遊技用価値の付与が行われることとなってから予定分の付与が終わる前においては、前記設定値変更手段による処理の実行を禁止可能にしている（例えば、遊技用価値の付与中を条件に電断時にセットする設定変更禁止フラグに基づいて、電断復旧時の設定変更処理を禁止する等）

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

これにより、遊技用価値の付与処理が予定分の付与が終わらずに途中で打ち切られる等の不具合の発生を未然に防止できる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

しかも、付与手段により遊技用価値の付与が行われている際に、前扉部が閉状態から開状態に変位した場合であっても付与手段による遊技用価値の付与は続行可能であるため、遊技用価値の付与処理が予定分の付与が終わらずに途中で打ち切られる不具合の発生をより防止できる。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明によれば、不具合を抑制することができる遊技機を提供することができる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図226

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2 2 6】

[BB中の設定変更を行っても、BB中の情報をクリアしない方法](1/4)fig.226

